

2月

平成4年
1992

横浜市関係

- 5―アジア太平洋都市間技術協力ネットワーク(シティネット)事務局、横浜国際平和会議場に開設
- 6―市と住宅・都市整備公団、MM21地区・24街区開発で開発主体のT・R・Y九十グループと公有財産有償貸与予約契約を締結。▽関東財務局、「本牧山頂公園」の敷地として国有地五・六haの無料貸付契約を市と締結
- 7―相模鉄道二俣川駅北口再開発事業にあたる組合の認可が県知事より下りる
- 10―市、「国際学生会館」(仮称)の建設を着工
- 12―市、平成四年度の当初予算案を発表。一般会計は前年度当初比七八・七%増の一兆二千六百六十六億二千六百万円
- 13―横浜こども科学館、入館者二百万人を突破
- 22―学校五日制の実施研究協力校市内三十七校のうち八校で土曜休校が初試行
- 23―第十回横浜国際女子駅伝開催。▽「クイーン・エリザベス二世号」、三年ぶりに横浜港に入港
- 24―姉妹都市リヨンの市長ら来浜。MM21地区などを視察
- 25―市会第一回定例会開催(3/27)
- 26―工業再配置計画の一環として建設が進められてきた「横浜インナーパーク」が完成、竣工式開催
- 29―横浜港観光のためのレストララン船「マリーンルージュ」就航

自治体・国・社会

- 1―訪米中のエリツイン・ロシア大統領とブッシュ米大統領が初の首脳会談。戦略核の大幅削減に向けた新交渉開始などで合意し、共同声明発表。4―法務省、不法残留外国人が九一年五月の推計でほぼ、十六万人と発表。7―EC加盟国、共通の通貨、外交、安全保障政策を導入し、ECに広範な権限を与えるマーストリヒト条約(新憲法)に調印。▽水保病東京訴訟で、東京地裁は水保病認定申請者ら、六十四人のうち四十二人を認定。チツソに一律四百万円の賠償を命じる判決。9―ロシアで十二万人参加の反政府大集会。経済政策に反対し、エリツイン大統領の辞任要求。11―日、米、ロ、加の四カ国「北太平洋さけ、ます保存条約」に署名。さけ、ますの沖取り禁止確定。▽米、フロンを九十五年全廃へ方針発表。14―東京佐川急便の四千九百億円に上る債務保障や融資の件で、渡辺前社長ら四人逮捕。20―国道「43号」の騒音や排ガス訴訟で、大阪高裁「生活妨害」と認め、国と道路公団に総額二億三千三百万円の賠償命令。

3月

平成4年
1992

横浜市関係

- 1―市公文書公開条例に基づく簡易開示制度始まる
- 8―「第十三回横浜映画祭」、関内ホールで開催
- 14―市交通局、地下鉄とバスの両方に使用できる共通カード乗車券とカード回数乗車券を発売。▽リサイクル文化都市ヨコハマを考える「横浜ルネッサンス交流会」の初会合、関内ホールで開催
- 16―「ヨコハマ都市デザインフォーラム国際会議」、パシフィコ横浜で開催(19日)
- 22―若草台地区センターの開所式開催。緑区内で七番目
- 23―市、中国・上海市と歴史的建築物を生かした街並みの整備に協力する覚え書きに調印
- 24―市、二月末現在で報告されたエイズ患者・感染者数(血友病患者を除く)を発表。患者一人を含む十四人。▽「美空ひばり記念館」設立準備委員会、産賀センターで開催
- 30―市、「赤レンガ倉庫」の建物と土地を市有地と交換する契約を国と締結
- 31―住宅支援サービスセンターと障害者地域活動ホーム「シーサイド」の併設館、金沢区に完成し、開所式開催。▽明治十年に設立された日本で最初の伝染病専門病院「万治病院」、廃院

自治体・国・社会

- 1―暴力団対策法施行。山口組総本部など四府県の計百九カ所をいっせいで捜査、六十五人逮捕。3―日教組、税制上の優遇措置を受けるため、任意団体から社団法人とする規約改正を行い、争議行為の項目を削除。6―福岡空港騒音訴訟の控訴審で、福岡高裁、過去の賠償約一億四千万円の支払いを国に命じる。13―障害を理由にした高校入試不合格処分訴訟で、神戸地裁、処分取り消しと百万円の損害賠償を尼崎市に命じた。17―南ア共和国でアパルトヘイト体制改革続行の是非を問う白人有権者の信任投票で、改革賛成六八・七%を占めた。18―日本医師会の生命倫理懇談会、尊厳死を認め、自然死法の制定を求める報告書を公表。25―厚生省公衆衛生審議会第三種混合ワクチン接種後死亡した三歳女児の遺族に約二千万円を支払うと、死者に対する初の救済制度認定。27―公務員に完全週休二日制を導入するための一般職給与休日法改正案設立。▽国土庁、一月一日現在の地価公示価格発表、全国平均で住宅地前年比五・六%マイナス。

4月

- 1―下水道駅周辺、市の自転車等放置禁止区域に指定
- 8―県内で初の精神薄弱者福祉工場「ダイア磯子」が完成、開所式
- 9―市斎場整備検討委員会、市長に最終報告書を提出
- 10―二俣川駅行政サービスコーナーの開所式。市内四カ所目
- 11―市の第二、第四の隔週閉庁制度スタート
- 13―市の生産緑地地区指定の都市計画素案の任意縦覧と意見の受付始まる
- 17―横浜化学工業団地バイオ・インダストリー・グループ研究所、金沢バイオパーク内にオープン。▽港北区で四町内会が共同でビル形式の町内会館を開館。市内初
- 18―船をイメージした児童公園「中村冒險パーク」が南区に完成し、開園式開催。
- ▽「第十三回野毛大道芸ふえすていばる」開催（19日）
- 21―神奈川フィルハーモニー管弦楽団の拠点ともなる「かながわアートホール」県立保土ヶ谷公園内にオープン。▽「CATV港南」開局
- 25―「中スポーツセンター」オープン。十二館目。特別養護老人ホーム、在宅支援サービスセンターとの複合施設。▽旭区大池公園にこどもログハウス「おおいけらんど」が完成し、開館式開催

1―日本銀行、公定歩合を0.七五%引き下げ、年三.七五%とすることに決め、即日実施。

8―官城県の病院で、日本初の顕微受精の女児誕生。9―一般会計七十二兆二千八百八十億円の九二年度予算案、参院で否決されたが、両院協議会を経て衆院の議決が優先され成立。▽英国で総選挙実施、保守党が過半数を確保。11―ゴルフバチョフソ連大統領が来日。14―帝国データバンクによると九二年度の倒産件数一万七千七百六十七件、負債総額七兆七千七百三十七億円で史上最悪。16―職場でのセクシュアル・ハラスメント訴訟で、福岡地裁、不法行為と認定。出版社と元上司に損害賠償命令。

19―厚生省推計で、九二年度医療費総額二十三兆千七百億円と過去最高。国民一人あたり年間十八万六千円。24―運輸省、東京、横浜地区などのタクシー運賃、一二%の値上げ認可。29―米ロサンゼルス市で、黒人男性に暴行した白人警官四人に無罪の評決で、暴動発生。他の都市にも飛び火。三十人以上が死亡。

5月

- 1―「地球環境アジアNGOフォーラム」新都市ホールで開催（3日）
- 3―開港記念みなと祭の第四十回国際仮装行列。三十六万人
- 8―市行政区再編成審議会（一杉哲也会長）、港北区と緑区を四区に分割する最終答申案を市長に提出
- 11―港北区茅ヶ崎町に「港北ニュータウン行政サービスセンター」開設
- 12―上海市の黄菊市長、高秀市長を表敬訪問
- 13―五月定例市会開会（22日）。▽東名高速道路横浜・緑インター設置推進協議会、設立総会を開催
- 14―七都府市首脳会議（首都圏サミット）新横浜プリンスホテルで開催。「地球環境保全首都圏アピール」を採択
- 16―戸塚駅東口周辺再開発協議会、発足
- 19―保土ヶ谷区川島町公園にこどもログハウス「アドベンチャーハウス」が完成、開館式
- 25―東京、大阪、横浜の三地域で自動車排ガス公害の軽減を目指す「自動車排出窒素酸化物総量削減特別措置法」成立
- 26―「横浜市下水道事業研究会」、下水道使用料金体系見直しを市長に提言
- 27―「ニューシティー懇談会」、発足。
- ▽市、技術開発センター建設を計画している東京電力と初の環境保全協定を締結
- 31―新港ふ頭の新赤レンガ倉庫の内部初の一般公開

4―総務庁、十五歳未満の子供数は、二千六百四十四万人で前年より五十七万人減、総人口比一七.四%で最低記録と発表。6―九二年度貿易黒字千三百三十四億ドルで、前年比六二.四%増、過去最高。8―横瀬北勝海引退表明、六十二年ぶりの横瀬不在。

11―北方領土へのビザなし渡航の日本側第一弾、元島民ら四十五人出港。14―農水省、二千年までに、中核的農家を三十五万四千戸に集約するなどとした「新しい食料、農業、農村政策」の基本方針。15―沖縄の本土復帰二十周年を迎え、政府の記念式典が東京で開催。▽経企庁、新しい国民生活指標による地域別の「豊かさ指標」発表。北陸が一位。北海道二位。大阪など近畿圏が最低の十二位。21―経済審議会「生活大国」実現のため年収の五倍程度で住宅取得可能、年間労働時間千八百時間とするなどの報告書をまとめる。

22―映画俳優で監督の伊丹十三さんが帰宅し、駐車場で三人組の男に襲われ重傷。26―政府は、九二年度から始まる新経済五カ年計画期間中の実質経済成長率を年平均三.五%と決定。これまでの最低。